

「異分野融合セミナー」を開催

2019年7月11日

7月11日（木）、金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室において、金沢大学 WPI ナノ生命科学研究所（Nano-LSI）准教授 奥田覚 先生をお招きして、異分野融合セミナーを開催しました。

セミナーでは、「多細胞の三次元力学動態を1細胞から予測する汎用力学モデル」という演題で、汎用三次元バーテックスモデル、幹細胞培養系における眼杯形成の力学制御機構、および上皮シートからの細胞脱離の力学理論について講演していただきました。セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約30名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。セミナーの途中で、質問がなされ、その都度丁寧に答える形で、数理モデル解析が、いかに生命現象のメカニズム解明に寄与するか、その取り組みについて参加者全員で共有することができ、大変有意義なセミナーとなりました。今後、がん進展制御研究所のメンバーとの共同研究が始まるきっかけとなる貴重な機会となりました。



がん進展制御研究所

異分野融合セミナー

多細胞の三次元力学動態を1細胞から予測する汎用力学モデル

奥田 覚

金沢大学 WPIナノ生命科学研究所(Nano-LSI)
准教授

【日時】2019年7月11日(木) 17:00～18:30

【場所】がん進展制御研究所 4F会議室

多細胞の力学動態は、発生・代謝・疾患などの様々な生命現象に見られ、遺伝子発現などの生化学動態と協働して、マクロな組織・器官の構造や機能を制御している。本研究では、一般的な多細胞の三次元動態を1細胞レベルから解析する数理モデルを開発し、数理解析と生物学実験の融合アプローチにより、その力学原理の解明を目指してきた。本セミナーでは、開発した汎用三次元バーテックスモデル、幹細胞培養系における眼杯形成の力学制御機構、および、上皮シートからの細胞脱離の力学理論について紹介する。

奥田先生は、Nano-LSIのJr.PIとして昨年着任されたばかりの若手研究者です。数理計算科学が専門ですが、理研、京大再生研において、ESの分化を中心にウェットも並行して行ってこられました。面白いセミナーとなると思います。奮ってご参加ください。

がん進展制御研究所 平尾 敦

(連絡先: 遺伝子・染色体研究分野 内線6755)